

平成22年度 2級水路測量技術研修

1. 研修のコース (1) 港湾級 (2) 沿岸級
2. 研修期間

研修は前期及び後期の2期に分け、港湾級は前期、沿岸級は全期間又は後期とします。

前期	平成22年4月 5日(月)～4月17日(土)	12日間
後期	同 4月19日(月)～4月27日(火)	8日間

* 各期とも日曜日を除く毎日9時30分～17時00分まで 詳細は別紙日程表参照
ただし、前期最終日は9時30分～16時まで、後期最終日は9時30分から15時30分まで。
3. 研修日程 別紙日程表のとおり
4. 研修会場 (財)日本水路協会 電話 03-5708-7076
〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-6 (案内図参照) 第一綜合ビル6F
5. 募集人員 約20名(先着順)
6. 申込期限 平成22年3月12日(金)
7. 受講資格

港湾級及び沿岸級
学校教育法第1条の高等学校を卒業した者又は会長がこれと同等の資格を有すると認められた者。
なお、2級水路測量技術(港湾)検定試験の合格者又は2級研修港湾級を修了した者は後期から受講できます。
また、上記の研修受講資格者以外でも、聴講生としてどなたでも受講できます。
8. 期末試験

前・後各期末には、期末試験があり、全科目の合格者には、該当級の修了証書が授与されます。
ただし、測量士、測量士補の有資格者に限り、基準点測量の試験が免除されます。
なお、聴講生には期末試験はありません。
9. 特典

研修を修了した者は、当協会が行う財団法人日本水路協会認定の2級水路測量技術検定試験において、申請により一次試験(筆記)が免除されます。
ただし、聴講生は、一次試験の免除はありません。
10. 受講料及びテキスト

◆受講料(テキスト代を含む)(単位:円) ◆テキスト(図書) (単位:円)

受講期間	受講料	図書名	価格	発行
前期 (12日間)	121,200	(前・後期) 水路測量関係規則集 (平成15年4月第6版)	1,040	海洋調査協会
	109,000			
後期 (8日間)	80,800	水路測量 第1巻 (平成19年3月増刷版)	4,000	日本水路協会
	72,700	水路測量 第2巻 (平成17年11月増刷版)	1,500	日本水路協会
全期 (20日間)	181,800	(後期) 水路測量 第3巻 (平成20年12月発行版)	2,600	日本水路協会
	163,600			

(注) 受講料の各期下段の金額は、日本水路協会賛助会員又は海洋調査協会の会員に適用します。
テキストとして上記図書を使用しますが、すでにお持ちの方は受講料から図書の価格を差し引いた金額を受講料とします。なお全期とは、前期・後期とも同一人の場合に限りです。
聴講生の場合も受講料は同額です。受講料には消費税が含まれています。

11. 携 行 品

- (1) 筆記具、ノート (2) 定規 (15～20 cm) (3) 電卓 (三角関数付)

12. 申込先及び問い合わせ

別添申込書に必要な事項を記入し、下記の住所に送付してください。

財団法人 日本水路協会 技術指導部

住所 〒144-0041 東京都大田区羽田空港 1-6-6 第一綜合ビル 6F

電話 03-5708-7076 FAX 03-5708-7138 E-mail: gijutsu@jha.jp

13. 受講料の支払方法

受講料は受講申込書の送付と同時に下記郵便局口座にお振り込みください。

なお、受講料払い込み後に受講を辞退された場合、申し込み期限以降は、原則として受講料の返却はいたしません。

振込み先

(ゆうちょ銀行 ⇒ ゆうちょ銀行)

記号 10080 番号 79797461 財団法人 日本水路協会

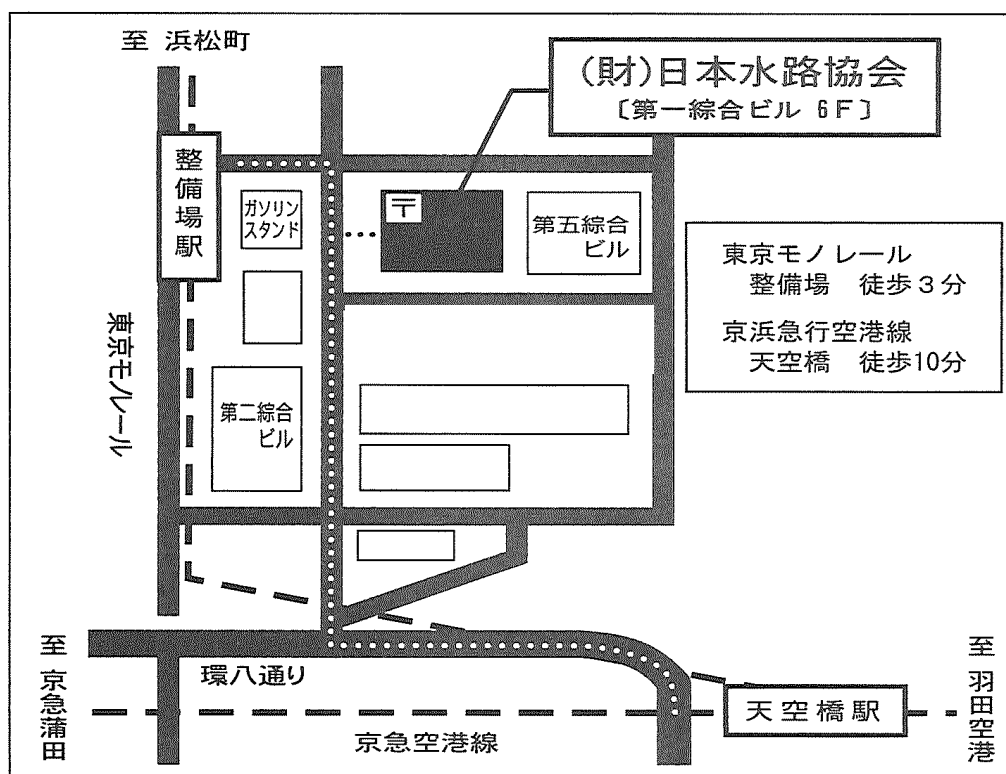
(他金融機関 ⇒ ゆうちょ銀行)

店名 008

店番 008

普通預金 口座番号 7979746 財団法人 日本水路協会

研 修 会 場



平成22年度の沿岸2級及び港湾2級水路測量技術検定試験は、平成22年6月5日(土)に東京((財)日本水路協会・第一綜合ビル)にて実施します。

平成 22 年度 2 級水路測量技術研修日程表

日 時 前期（港湾級・沿岸級） 4 月 5 日～4 月 17 日(12 日間)
 後期（沿岸級） 4 月 19 日～4 月 27 日(8 日間)
 午前 9 時 30 分～12 時 00 分
 午後 13 時 00 分～17 時 00 分

研修会場 第一総合ビル 6 階（財）日本水路協会研修室

研修は前期及び後期に分け、港湾級は前期、沿岸級は全期間又は後期の受講とする。

《前 期》（港湾級・沿岸級）

月 日	曜日	科 目	内 容	
4 5	月	基準点測量	測地、測定方法、GPS による位置測定	講義
6	火	基準点測量	計算及び誤差	講義・演習
		水路測量と海図	海図概論(地図投影概論を含む)	講義
7	水	基準点測量	高さの測定、海岸線測量、資料の作成	講義
8	木	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深機と実習概要	講義
		水深測量（測位）	測位用基準点の測定	講義
9	金	水深測量(測位・測深) 海上実習	マルチビーム音響測深機の儀装、機器の取扱い 海上実習地(保田漁港)	講義・海上実習
11	土	水深測量（測位）	GPS の概要、海上保安庁運用 DGPS の受信機取扱い、GPS による測位・実習	講義・実習
12	月	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深データの解析	講義・演習
13	火	水深測量（測深）	マルチビーム音響測深データの解析	講義・演習
			音響測深、記録の整理、資料作成	講義
14	水	水深測量（測深）	多素子音響測深機、広域海底面探査装置の原理・構造・取扱い、デジタル測深システム	講義
15	木	潮汐観測	潮汐の概要、験潮所見学(横浜港)	講義・実習
16	金	潮汐観測	潮汐記録の整理、資料作成	講義
		水深測量（測位）	測量船の誘導、光学的機器の取扱い	講義
17	土	水深測量（測位）	光学的機器等による測位	講義
		試 験	前期試験(13:30～16:00)	事務局

《後 期》(沿岸級)

月 日	曜日	科 目	内 容	
4 19	月	海底地質調査	地学一般、海底地質概論	
20	火	地図投影	測地計算	講義・演習
			地図の投影	講義
21	水	潮汐観測	理論、観測、計算実務	講義・演習
22	木	海底地質調査	音波探査機及び採泥器	講義
23	金	海底地質調査	音波探査記録及び採集底質の整理	講義
24	土	水深測量	測量成果の作成、海底地形図(素図)の作成	講義・演習
26	月	海底地質調査	海底地質構造図・底質分布図の作成	講義・演習
27	火	潮汐観測	計算実務、資料の作成	講義・演習
		試 験	後期試験(13:30~15:30)	事務局

平成 2 2 年度 2 級水路測量技術研修受講申込書

財団法人 日本水路協会
会 長 殿

会 社 名

所 在 地 〒

代 表 者 名

印

連 絡 担 当 者 名

連 絡 所 在 地

電 話 番 号 :

fax :

平成 2 2 年度 2 級水路測量技術研修に下記職員を参加させたく申し込みます。

ふり 氏	がな 名		
生年月日(歳)	年 月 日(歳)	年 月 日(歳)	
最 終 学 歴			
検 定 試 験 歴			
資 格 1)			
実務経験年数			
受 講 期 2)			
協 会 会 員 3)			
振込金額 4)	¥	¥	

- 1) 測量士補又は測量士の資格所有者は、資格を記入し、その登録証明書又は、写しを添付してください。
- 2) 前期、後期、全期、聴講生と記入してください。
(なお、聴講生は、学歴、検定試験歴、資格、水路測量の実務経験年数は省略してもよい。)
- 3) (財)日本水路協会の賛助会員、(社)海洋調査協会の会員は○をつけてください。
- 4) 郵便局へ振込みした金額を記入してください。【 3) に○をつけた方は、受講料表の各期下段の金額。また、下表のテキスト(図書)をお持ちの方は、有のところに○をつけて受講料から図書の価格を差し引いた金額。】

◇受講料(テキスト代を含む)◇

受講期間	受 講 料
前 期 (12日間)	121,200 円
	109,000 円
後 期 (8日間)	80,800 円
	72,700 円
全 期 (20日間)	181,800 円
	163,600 円

(消費税は含まれております)

◇テキスト(図書)◇

使用期	図 書 名	価 格	有
前期・後期	水路測量関係規則集 (平成15年4月第6版)	1,040 円	
	水路測量 第1巻 (平成19年3月増刷版)	4,000 円	
	水路測量 第2巻 (平成17年11月増刷版)	1,500 円	
後 期	水路測量 第3巻 (平成20年12月発行版)	2,600 円	